

現代俳句を読む行為

言葉恋にして

鳴戸奈菜



俳句はそれ自体たくさんの夾雑物を抱えこんだ、不純で、それゆえしたたかな、お化けのような代物と捉えられるべきと私は思っている。 ——「耕衣の幻想俳句」より